

栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	徳島県
再委託先	板野郡松茂町

1 事業推進の体制

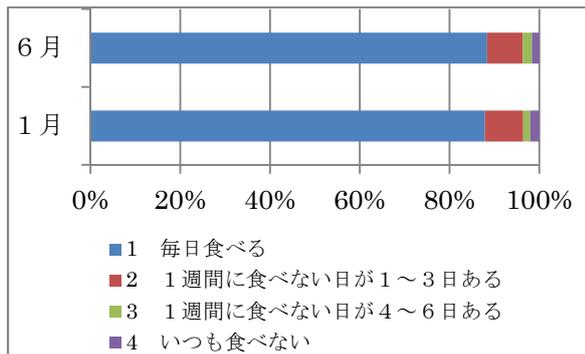
実践中心校	松茂小学校
協力校	長原幼稚園・喜来幼稚園・松茂幼稚園・長原小学校・喜来小学校・松茂中学校
関係機関	松茂町学校給食センター

2 具体的な取組等について

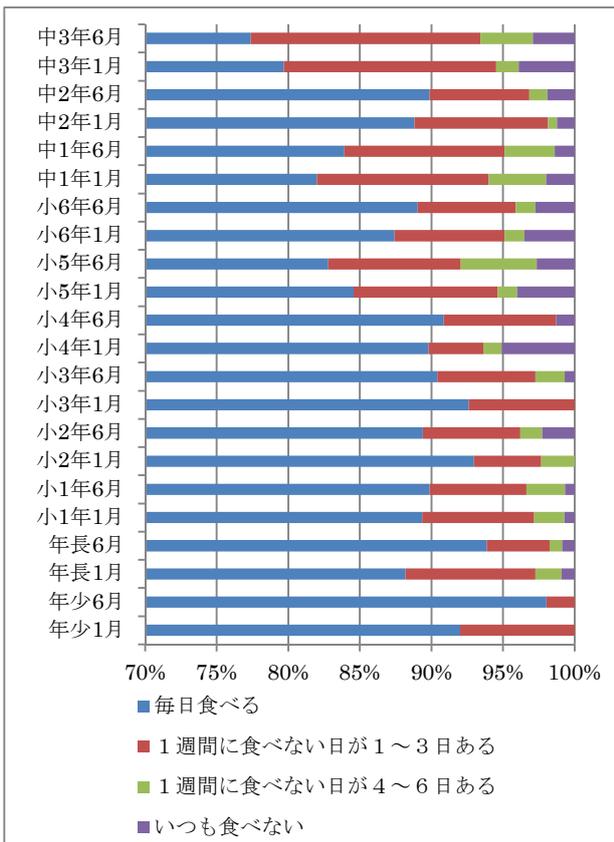
テーマ1	学校食育推進体制の充実	
評価指標	松茂町学校食育推進委員会を発足させ、機能を充実させる。	
効果	町内関係機関に働きかけ、協力体制を作ることができた。	
	<p>(1) 松茂町学校食育推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回 平成25年6月17日 出席者18名 協議内容 平成25年度の事業計画について 「栄養教諭を中核とした食育推進事業」について 「徳島県学校食育推進パワーアップ作戦」について ○ 第2回 平成26年2月25日 出席者18名 協議内容 平成25年度の取組について 成果と課題について 平成26年度の事業計画について <p>(2) 食育リーダー部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回 平成25年7月12日 出席者4名 協議内容 「徳島県食育推進パワーアップ作戦」について 各校での食育の取り組みについて <p>(3) 校内学校食育推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 松茂小学校 平成25年6月13日 協議内容 「栄養教諭を中核とした食育推進事業」について 「徳島県食育推進パワーアップ作戦」について 食物アレルギーについて 	
テーマ2	食に関する指導の充実	
評価指標	朝ごはんを毎日食べる 88.3% (6月) → 90%以上 (1月)	
効果	朝ごはんを毎日食べる (全体) 87.9% (1月調査) 朝ごはんを毎日食べる (小学5年) 82.8% (6月) → 84.6% (1月)	
	<p>(1) 食に関するアンケートの実施 (幼稚園児・小学生・中学生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回 平成25年6月実施 ○ 第2回 平成26年1月実施 <p>松茂町内の食に関する課題を見つけるため、「食に関するアンケート」を実施した。その結果、朝食欠食率が高く、また朝食の内容も十分な状況ではないことがわかった。</p> <p>※平成22年度「食に関する実態調査」(徳島県実施) 「毎日朝食を食べている」89.5%…県内小学校5年生 82.8%…松茂町5年生(6月時)</p> <p>1月調査において、毎日朝ごはんを食べている子供の割合は全体的には減少したが、徳島県学校食育推進パワーアップ作戦を実施した5年生では増加し、朝食内容についても改善された。</p>	



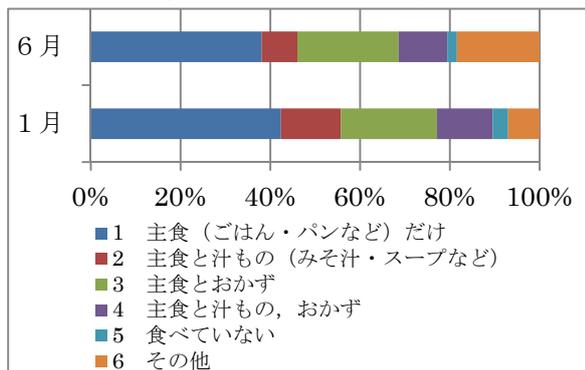
毎日、朝ごはんを食べていますか？（全体）



毎日、朝ごはんを食べていますか？（学年別）



今朝、何を食べましたか？（全体）



(2) 教科等

第5学年 学級活動（特別活動）「栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう！」

平成25年6月に実施した「食に関するアンケート」の結果を松茂町食育推進委員会で語り、小学校の中で最も朝食欠食率の高い5年生を対象に、栄養バランスのよい朝食の大切さを指導することとした。

朝食の大切さを松茂町内に伝えるために、この授業をした5年生児童が「朝ごはん標語」を作成し、クリアファイルに印刷して、町内園児・児童・生徒等に配布した。



(3) 各小学校給食委員会活動

各小学校の朝会時、給食委員会からの発表としてクイズを出している。2学期は「朝食」、3学期は「野菜」をテーマにしたクイズを出した。この発表に使用した資料は廊下等に掲示し、いつでも見られるようにして、子供たちの興味関心を高めている。



(4) 給食時間における指導

今年度、松茂町では、朝食を重点的に取り上げ、食育を推進しているため、全小学校全学級に対し、「朝食の大切さ」について指導を行った。

また、全国学校給食週間中には、全小学校1年生対象に「給食の歴史」について話し、感謝の気持ちを持ち、できるだけ残さず給食を食べよう指導した。



(5) 給食センター訪問

子供たちは、給食センター2階の窓から調理作業を見学した後、栄養教諭からの説明を聞いたり、調理に使う道具の大きさや重さを体感したりした。調理員の苦労や献立に込められた願いなどを知った子供たちから「これからはできるだけ残さず食べよう」という感想が出された。

(6) 各校での取り組み

○ 松茂小学校での取り組み

・「弁当の日」事前指導

初めて「おにぎり弁当の日」を迎える5年生を対象に、事前指導を行った。米のとぎ方や炊き方、おにぎりの握り方や衛生面で配慮することなどを指導した。その後、給食のごはんを使って、各自でおにぎりを作った。



「弁当の日」に自分でお弁当が作ることができるよう、5年生に事前指導を行った。お弁当に適したおかずやその詰め方、衛生面で気をつけなければいけないこと、家庭科で習った調理方法で十分お弁当が作ることができることなどを話した。

・「松茂町学校給食コンクール」事前指導

家庭科の授業時間に、献立を考えるときのポイントについて話をした。栄養バランスを考慮すること、旬の食べ物を使うと栄養価も高くおいしいこと、地場産物を活用するとよいことなどを伝えた。



・家庭科調理実習補助

調理実習の時には、必ず栄養教諭が参加するようにしている。使用する食材の特徴や栄養、調理方法のポイントなどを専門的な立場から伝えている。

○ 長原小学校での取り組み

・第2学年 学級活動（特別活動）「野菜を食べて元気もりもり」

野菜が苦手な児童が多く、給食でも野菜を使った献立の残飯が多いと担任から相談があり、野菜の大切さや1日に必要な量などを指導した。授業後『苦手だけどがんばって食べたい』という感想や決意が見られた。

・第3学年 学級活動（特別活動）「正しいおやつを食べ方」

おやつも大切な食事であることを伝え、健やかな成長を妨げないおやつの食べ方を理解することを目的に指導した。自分のおやつの内容や食べた時間をふり返り、自分なりにどのようにすればよいかを考え、正しいおやつのとり方を実践する意欲を高めることにつながった。

○ 松茂中学校での取り組み

・文化祭での掲示資料

夏休みの課題として中学1年生が実践した「あなたのためのお弁当レシピ」「超かんたん野菜料理弁当レシピ」を展示した。文化祭ということもあり、地域の小学生や保護者に見てもらいよい機会となった。『おいしそう』『中学生でもここまで作れるんだ』などの感想があった。



テーマ3 学校給食の充実と地場産物の活用促進

評価指標 学校給食における地場産物活用状況調査で、40%以上

効果 6月調査：43% 11月調査：49% 2月調査：43%

(1) 学校給食における地場産物活用状況調査

- 第1回調査 平成25年 6月24日～28日 43%
- 第2回調査 平成25年11月18日～22日 49%
- 第3回調査 平成26年 2月17日～21日 43%

(2) 「食育の日」特別メニュー

毎月19日前後の給食に松茂町産のものを取り入れ、掲示資料や給食放送等で啓発した。

- 4月19日「マーボーれんこん（れんこん）」「ワントンスープ（チンゲンサイ）」
- 5月20日「もち入り小松菜スープ（小松菜）」
- 6月19日「チンゲンサイのミルクスープ（チンゲンサイ）」
- 7月19日「しらすあえ（小松菜）」
- 9月19日「れんこんとハムのサラダ（れんこん）」



- 10月18日「れんこんきんぴら（れんこん）」
- 11月19日「みそマヨサラダ（れんこん）」
- 12月19日「だいこんサラダ（だいこん）」
- 2月19日「さつまいもの天ぷら（さつまいも）」
- 3月19日「れんこんきんぴら（れんこん）」

(3) 松茂町学校給食献立コンクールの実施

今年度で28回目となる伝統あるコンクールで、小学校5・6年生と中学生から募集した献立を1月の学校給食に取り入れている。毎年、松茂町の地場産物や旬の野菜をたくさん使った献立が提出され、子供たちの食への興味関心が向上している。

今年度給食コンクール優秀献立例

栄養たっぷりポトフ
れんこん入りクラムチャウダー
鳴門金時入りクリームシチュー
カラフル豚汁そうめん など



地産地消汁

町内産のさつまいも・れんこん・だいこんが入っています。

テーマ1～3に共通する取組

評価指標	朝ごはんを毎日食べる 88.3% (6月) → 90%以上 (1月)
効果	朝ごはんを毎日食べる (全体) 87.9% (1月調査) 朝ごはんを毎日食べる (小学5年) 82.8% (6月) → 84.6% (1月)

(1) 「弁当の日」

- 平成25年 5月24日 「おにぎり弁当の日」
- 平成25年10月18日 「おにぎり弁当の日」
- 平成25年11月 8日 「弁当の日」

「弁当の日」を通し、子供たちは食べ物や調理に興味がわいたり、自尊心が育ったりしている。また、食事ができることは当たり前のことではないことに気づき、食事を準備してくれる人に感謝の気持ちをもつことができるようになった。



(2) 給食試食会

- 平成25年6月21日 松茂小学校
- 平成25年7月 3日 喜来小学校

保護者に学校給食への理解を深めてもらうとともに、家庭での食生活の改善を図ることを目的としている。給食についての説明とともに、今年度は「朝食の大切さ」をテーマに、徳島県および松茂町の子供たちの食に関する課題や理想的な朝食、栄養バランスについてなど講話を行った。

(3) 親子料理教室

- 日 時：平成25年8月10日 (土)
- 講 師：徳島県立総合教育センター 亀田佳子 指導主事
- 対 象：幼稚園児・小学生とその保護者
- 内 容：簡単朝ごはんレシピ



講師をお招きし、夏休み中に親子料理教室を開催した。朝食の大切さについての講話と簡単に作ることでできる朝食レシピを紹介していただいた。親子での調理体験を通して、家庭における調理に対する意欲が高まるとともに、食材・調理の工夫・食べることへの興味関心の向上につながった。

(4) 食育講演会

- 日 時：平成25年11月29日 (金)
- 講 師：徳島県立総合教育センター 亀田佳子 指導主事
- 対 象：松茂小学校5・6年児童と保護者
- 内 容：郷土料理・朝ごはんについて



成長期の子供たちにとって、いかに朝食が大事であるかをお話していただいた。朝食の内容によって脳の働きがよくなることを知り、子供たちも保護者も驚いていた。また、給食で出てい

る郷土料理はほんの一部であり、徳島県にはいろいろな郷土料理があることも教えていただき、子供たちに地元を愛する気持ちが芽生えた。

(5) 食育だよりの発行

- 第1回 平成25年7月16日
第1回食に関するアンケートの結果
徳島県の郷土料理紹介
- 第2回 平成26年3月3日
第2回食に関するアンケートの結果と1回目との比較



(6) 「朝ごはんを食べて、1日を元気にスタート！」クリアファイルの配布

徳島県食育推進パワーアップ作戦の授業を行った5年生に、朝ごはん標語を作成してもらい、その優秀作品を印刷したクリアファイルを町内全園児・児童・生徒等に配付した。

(7) 広報誌での啓発活動

松茂町広報誌（平成25年10月号）に、「食育特集」として学校食育推進活動を掲載していただいた。今年度始まった親子料理教室や地場産物を使ったこだわりの学校給食などの紹介があり、保護者だけでなく町民に広く食の大切さを啓発することができた。



3 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

今まで食に関する指導は単発的に行われがちだったが、松茂町食育推進委員会の機能を充実させ、食育リーダーが中心となって指導が行われるようになったことで、他教科と連携をもったり、給食指導や朝会などで機会があるごとに食についてふれたり、町内の全小学校で同じ内容の指導ができたりと、いろいろな場面で子供たちの意欲づけを図り、望ましい食習慣に向けた指導を行うことができた。

今年度初めて親子料理教室や食育講演会を実施したが、参加者にはとても好評であった。親子料理教室では、調理を通して親子のふれあいを深めたり、健康な生活を送るための食生活について改めて考えたりすることができた。食育講演会では、朝食の重要性について科学的根拠に基づいた講演を聞き、子供のためによりよい朝食を準備しようとする保護者の動機づけをすることができた。

「弁当の日」も2年目となり、保護者の理解や協力も得られている。自分で食事を準備することで、子供たちの中に自分を誇りに思う気持ちや食事を用意してくれる人への感謝の気持ちなどが芽生えている。

4 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

「食に関するアンケート」において、毎日朝食を食べる割合の1月調査時の目標値を90%と設定していたが、それを超えることができなかった。その原因は、指導内容の精査不足、指導回数不足にあると考えられる。子供たちに分かりやすく、いかに食が重要であるかを訴えることのできる指導内容を案出しなければならない。

栄養教諭が給食センター勤務であるため、児童生徒に接する機会が少なく、ふだんの子供たちの様子や家庭環境なども把握しにくい状況にある。より効果的に食育を進めるため、各校の食育リーダーをはじめ、全教職員と連携協力する必要がある。また、保護者や地域の方々との連携を深め、地域ぐるみで食育を進めていきたい。栄養教諭が「食のコーディネーター」としての役目をしっかり果たしていかなければならない。

同時に、給食が「生きた教材」として活用できるよう、地場産物の更なる活用も含め、今後もさらに充実させる必要がある。

今年度は、松茂町の現在の一番の課題である「朝食」についてポイント絞ってさまざまな取り組みを行ったが、今後は徳島県全体の課題である「生活習慣病予防」や「野菜不足解消」についても取り組みを広げなければならない。

